

9/3 (水) 株式会社 関根電気 町へ100万円の寄附

(株) 関根電気（関根敏政代表取締役、写真左）より、町に100万円が寄附されました。

関根代表は、長きにわたり町へ防犯灯の寄贈や寄附活動を行っており、町のさまざまなサービスの充実に寄与するなど、多大な支援をされています。

贈呈式の中で関根代表は「茨城県は地元であり、思い入れがある。地域のために貢献したい。」と寄附に込めた思いを語りました。小林町長は「多大な心遣いに感謝申し上げる。町の発展のために活用させていただきたい。」と謝辞を述べました。



9/3 (水) 水戸ホーリーホック 渡邊新太選手 町内の全小中学校へサッカーボール贈呈！



水戸ホーリーホック茨城県PR大使を務める渡邊新太選手が、^{わたなべあらた}「2025明治安田J2リーグ KONAMI 月間MVP」にて4月・5月度MVPを獲得し、その副賞を活用して、サッカーボールを茨城町の全小中学校に6個ずつ計36個寄贈されました。

9月3日（水）には青葉小学校にて、全校生徒参加でサッカーボール贈呈式を行い、渡邊選手は「少しでもサッカーに触れてほしいとの思いでボールを贈りました。今日をきっかけに、サッカーに興味を持ってもらい試合の応援に来てください。」と呼びかけました。児童を代表して6年生の秋葉大河さんが「諦めずにボールを追いかける渡邊選手のように目標に向かって頑張る。J1昇格へ児童一同応援しています。」と話しました。

コミュニティ助成事業 宝くじの助成金で備品を整備 【小鶴区】

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託収入を財源としたコミュニティ助成事業を実施しています。

この助成を受けて、小鶴区では、小鶴公民館のエアコンやLEDシーリングライト、ホワイトボード、屋外用投光器などの備品整備を行いました。これにより、快適な集会施設において、区民がより活発な地域活動を行える環境が整いました。



整備された備品



小鶴区いきいき教室



7/26(土) 8/3(日) いばらき少年剣友会 2つの全国大会で優勝

町内の剣道道場であるいばらき少年剣友会が、7月26日（土）の令和7年度全日本少年少女武道剣道錬成大会、および8月3日（日）の第2回大江戸旗・葛飾区長杯全国選抜剣道大会において、団体優勝を果たしました。

指導者である雨谷水紀さんは、「全日本少年少女武道剣道錬成大会の会場である日本武道館は、武道をやっている人にとっての聖地。ここで優勝できたことは特に嬉しいです。」と語りました。

日頃の練習の様子を尋ねると、「幼児から中学3年生までみんなで一緒に日々稽古をしています。いい意味で家族のような雰囲気です。上級生が小さい子の面倒をみたり、小さい子は上級生の姿を見て自然と学んでいきます。皆で良いチームを作ることを常に意識しています。」と話してくれました。



8/26 (火) おいしいぶどうが勢揃い！ ぶどう品種検討会と試食会を開催



町内のぶどう生産者9人で組織される茨城県ぶどう生産研究会（奥谷利一会長）が小林宣夫町長を来賓に迎え、町総合福祉センターゆうゆう館で品種検討会を開催しました。

例年より10日ほど早い開催となりましたが、「巨峰」をはじめ、人気の「シャインマスカット」など12品種、合計26点のぶどうが持ち寄られ、より高品質なぶどうの生産を目指し、重さ・色合い・味などについて生産者間で活発な意見交換が行われました。奥谷会長は「最近の農産物価格高騰が続く中、ぶどうの販売も厳しくなっている。記録的な猛暑が続いている中、これから出荷の最盛期を迎えるため、体調管理に努めて頑張っていきたい。」と挨拶しました。

その後、ゆうゆう館1階エントランスでは試食会が実施され、来場者からは「様々な品種の試食ができて良かった。どの品種もとても甘くておいしい。町でこんなに多くの品種のぶどうが生産されているなんて知らなかった。ぜひ購入してみたい。」と大変好評でした。

9/1 (月) 災害に備えて日々の準備を イオンタウン水戸南で防災備蓄品展示会・防災相談会を実施

「防災の日」に、イオンタウン水戸南センターコートで、防災備蓄品展示会・防災相談会を実施しました。

防災備蓄品展示会では、災害時に避難所で使用・提供する防災資機材や防災食料の展示紹介を行い、町民の方が、町の備蓄品を確認しました。また、防災相談会では、町からの災害情報の取得方法やハザードマップの確認、その他防災に関する疑問点や心配事など、来場者の相談に応じました。

今後も防災イベントや訓練などを通じて、災害に関する知識や情報の周知・啓発を行い、町民の皆様とともに、災害対策をすすめていきます。

